

新希望新聞

東日本大震災希望新聞取材班
〒100-8051 (住所不要) 毎日新聞生活報道部

ファクス03・3212・5177
メールkibou@mainichi.co.jp

被災地に役立つ情報や「伝言板」への投稿をお待ちしています。被災者の今困っていることも募集します。投稿は、氏名、住所、年齢、職業、電話番号(あればメールアドレスも)を明記してください。

伝言板

宮城県旧鹿部郡が美家の平塚誠さん(60歳)と、旧友の福岡県行橋市の稲田安幸さん(63歳)が捜されています。約40年前、名古屋と東京のすし店で一緒に見習いをしていました。

平塚さんは遠洋漁業のマグロ漁船に乗っていた。ハワイ沖で船火事になり、米国籍に救助された。稲田さん(63歳)は、稲田さん(63歳)と、下の名前が不確かです。「実家の

地名は船川だったかも知れません。店(0930・22・1724)に電話してください。

被災地では多くのスポーツイベントが中止され、活動休止になった地域スポーツの中には再開のめどが立たないものもある。スポーツを通じた復興を呼びかけている

笑顔取り戻す力持つ

「ボランティア・21ボランティア委員会」キャプテンの村松淳司さん(40歳)は、非常時には最初には予算が削られてしま

う分野だが、人々が笑顔を取り戻す大きな力を持つていける。笑顔を取り戻す力を持つていける。笑顔を取り戻す力を持つていける。

「未来は希望者たち」にスポーツの楽しさを伝える活動を、宮城県ではサッカーや、ペガロル、柔道の快進撃や、ふれあいの活動が被災者に大きな勇気を与えて

「丹野恒一」を、それぞれ6人分、1箱にして20箱あります。希望者は大槻さんの携帯(090・3335・4194)に電話してください。

「いづれも大人用です。留守番電話であれば連絡先を吹き込んでください」

「被災地へボランティアに行くには」被災地のボランティア参加人数が大型連休明けから減っており、災害ボランティアセンター(VC)では引き続き参加を呼びかけている。

被災地へボランティアに行くには、被災地のボランティア参加人数が大型連休明けから減っており、災害ボランティアセンター(VC)では引き続き参加を呼びかけている。

被災地へボランティアに行くには、被災地のボランティア参加人数が大型連休明けから減っており、災害ボランティアセンター(VC)では引き続き参加を呼びかけている。

被災地へボランティアに行くには、被災地のボランティア参加人数が大型連休明けから減っており、災害ボランティアセンター(VC)では引き続き参加を呼びかけている。

サポリート情報

13日現在

医療

宮古、釜石、気仙地区の休日当番医は次の通り。15日はほとんど神経内科クリニック(釜石市)と内科、神経内科(釜石市)が担当。

交通

JR在来線の再開見込みは次の通り。JR在来線の再開見込みは次の通り。

労働・雇用

被災者を対象としたハローワーク職員による出張相談が避難所などで開かれています。

イベント

「がんばろう東北」就職説明会、合同就職説明会、合同就職説明会。

その他

全国の地方公務員共済組合の施設が東日本大震災被災者への宿泊費、食費、交通費を受け付けている。

三ノ宮

14、15日に電話相談。被災者生活相談員が被災者への対応に当たります。

電話帳

行方不明者相談ダイヤル、岩手県警、宮城県警、福島県警、通信・ライフライン、NTT災害用伝言ダイヤル、日本郵便、東北電力、医療、文部科学省健康相談ホットライン、放射線関連、放射線医学総合研究所相談窓口、日本糖尿病協会。

電話帳

被災者生活相談員、被災者生活相談員、被災者生活相談員。

電話帳

被災者生活相談員、被災者生活相談員、被災者生活相談員。

電話帳

被災者生活相談員、被災者生活相談員、被災者生活相談員。



「牛たちは家族同然」。福島市内の避難所から世話に来た佐久間さん親子(福島県葛尾村)で、竹内幹撮影

被災地では多くのスポーツイベントが中止され、活動休止になった地域スポーツの中には再開のめどが立たないものもある。スポーツを通じた復興を呼びかけている

「未来は希望者たち」にスポーツの楽しさを伝える活動を、宮城県ではサッカーや、ペガロル、柔道の快進撃や、ふれあいの活動が被災者に大きな勇気を与えて

「丹野恒一」を、それぞれ6人分、1箱にして20箱あります。希望者は大槻さんの携帯(090・3335・4194)に電話してください。

「いづれも大人用です。留守番電話であれば連絡先を吹き込んでください」

「被災地へボランティアに行くには」被災地のボランティア参加人数が大型連休明けから減っており、災害ボランティアセンター(VC)では引き続き参加を呼びかけている。

被災地へボランティアに行くには、被災地のボランティア参加人数が大型連休明けから減っており、災害ボランティアセンター(VC)では引き続き参加を呼びかけている。

被災地へボランティアに行くには、被災地のボランティア参加人数が大型連休明けから減っており、災害ボランティアセンター(VC)では引き続き参加を呼びかけている。

被災地へボランティアに行くには、被災地のボランティア参加人数が大型連休明けから減っており、災害ボランティアセンター(VC)では引き続き参加を呼びかけている。

歯科

岩手、宮城の歯科医師会が巡回診療の避難所を中心に巡回診療の避難所を中心に巡回診療の避難所を中心に巡回診療の避難所

伝言板

宮城県旧鹿部郡が美家の平塚誠さん(60歳)と、旧友の福岡県行橋市の稲田安幸さん(63歳)が捜されています。約40年前、名古屋と東京のすし店で一緒に見習いをしていました。

被災地では多くのスポーツイベントが中止され、活動休止になった地域スポーツの中には再開のめどが立たないものもある。スポーツを通じた復興を呼びかけている

笑顔取り戻す力持つ

「ボランティア・21ボランティア委員会」キャプテンの村松淳司さん(40歳)は、非常時には最初には予算が削られてしま

う分野だが、人々が笑顔を取り戻す大きな力を持つていける。笑顔を取り戻す力を持つていける。笑顔を取り戻す力を持つていける。

「未来は希望者たち」にスポーツの楽しさを伝える活動を、宮城県ではサッカーや、ペガロル、柔道の快進撃や、ふれあいの活動が被災者に大きな勇気を与えて

「丹野恒一」を、それぞれ6人分、1箱にして20箱あります。希望者は大槻さんの携帯(090・3335・4194)に電話してください。

「いづれも大人用です。留守番電話であれば連絡先を吹き込んでください」

「被災地へボランティアに行くには」被災地のボランティア参加人数が大型連休明けから減っており、災害ボランティアセンター(VC)では引き続き参加を呼びかけている。

被災地へボランティアに行くには、被災地のボランティア参加人数が大型連休明けから減っており、災害ボランティアセンター(VC)では引き続き参加を呼びかけている。

被災地へボランティアに行くには、被災地のボランティア参加人数が大型連休明けから減っており、災害ボランティアセンター(VC)では引き続き参加を呼びかけている。

被災地へボランティアに行くには、被災地のボランティア参加人数が大型連休明けから減っており、災害ボランティアセンター(VC)では引き続き参加を呼びかけている。

被災地へボランティアに行くには、被災地のボランティア参加人数が大型連休明けから減っており、災害ボランティアセンター(VC)では引き続き参加を呼びかけている。

時代をける

YOSHINORI KANEKO

金子 美登 [5]

「71年設立」は現在会員が約2500人。代表の故一栗照雄さん(元農林中央金庫理事)ら近代農業に疑問を抱く人々が集まった。

特徴的だったのは(長野県)佐久総合病院の若月俊一先生や、奈良県五條市の開業医だった梁瀬義亮先生(いずれも故人)など、地域医療を担うお医者さんが参加されていたこと。梁瀬先生は週のうち3日は医者、3日は有機農業をやっている。有機農業をやりながら世直しを唱えていた。化学肥料を使ってもふかふかのやわらかい土が固くなり、火山性の酸性土壌がさらに酸性化して微

全国に仲間と応援者



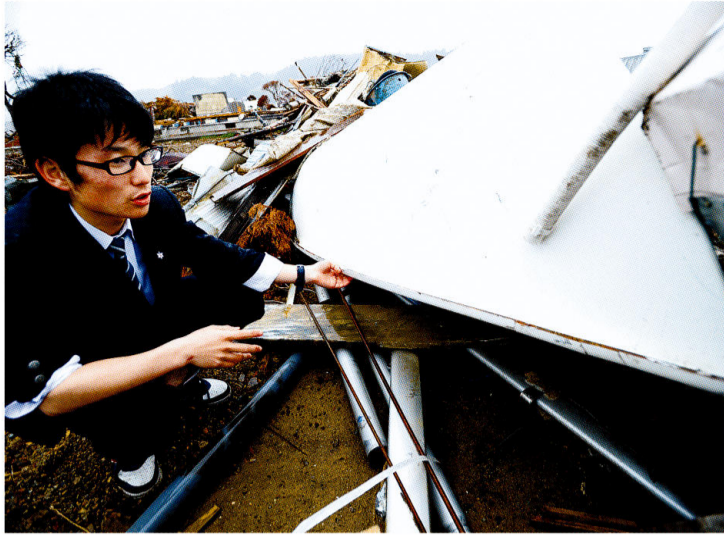
かねこ・よし のり 埼玉県小川町生まれ。約300年続く農家の長男。妻と「霜里農場」経営。NPO法人「全国有機農業推進協議会」理事長。63歳

生物がいなくなる。病虫 瀬先生から直接聞いたこと書が出て農業をかける れらの話が、今日につながる。それが食べるクモや カマキリなどの天敵も絶 滅し、悪循環に陥る。梁 んも小説「複合汚染」の 取材を兼ねて研究会に顔 出すようになった。

会費制の自給農場が失 敗した後のこと。『もっ と』と励ましてくれた のよと、励ましてけれ た。家畜の飼料袋にシヤ ガイモやタマネギなどを 詰め、月一回、他の消費 者の分と一緒に東京の杉 並の自宅まで届けに行っ た。普段は有吉さんのお 母さんがお返ししてくれ た。『ご本人も気がなな かりで頭が回らなかつた 時折、フランス料理店や 自ら演出した芝居に誘っ てくれた。』

実は私と妻友子(さん) はこの研究会で知り合 った。有吉さんは結婚して 79 年(2008年)に出陣してくれ た。 当時としては少ない会費 を、全国に仲間がいて、そ れを応援してくれる人が いた。

がれきの中からヨットの船底を捜し当てた三浦さん
—宮城県気仙沼市で12日



希望新聞



入れ歯は定期洗浄を

宮城 石巻市の市立渡波小 学校で歯科診療のボラ ンティアを行った日本 歯科大付属病院の助 教、岡田威一(ごうたけい)さん (36)と伊藤菜穂(いとうなほ)さん (32)。「避難所で虫歯の 治療や入れ歯の調整を しています。入れ歯を 入れっぱなしで生活し ている人が多いので、



避難所で食事の準備を手伝う関根佑志さん

定期的に洗浄してくださ。疲弊で歯茎が腫 (16)「地震の時は校庭 に入れてしまってもあり ます。食後の歯ブラシ を徹底し、衛生面にも 気を付けてください」

福島 相馬市総合福祉セン ターで、授業終了後、 ボランティアで食事の 準備などをする相馬東 関根佑志(せきま とうし)さん

自宅が流された大船 渡市の調理師、村上忠 蔵(むらかみただつむら)さん(62)「胃腸や肝 臓を患い入院していた 父(92)が震災後の停電 で寒くて心不全を起こ して死んだ。災害を恨 るようになりたい」

勝つ喜び求め「始動」 目標は秋の国体出場

再起に向け 再出発

所有10艇流失 ヨットの強豪・気仙沼高校

高校ヨット競技で東の津波ですべて流さ 北屈指の強豪、気仙沼 津波で練習がでな 高松(宮城県気仙沼市) ヨット部は、所有する ヨットが東日本大震災 の三浦悠(みやうゆう)さん(17)は 「海に対する恐怖心は 少なからずある。それ でも、風をつかまえて 高校総体に出場した。

就航計画頓挫の超高速船「TSL」

国土交通省の高速船 プロジェクトの「環で 05年に建造されなが ら、原油高騰で東京- 小笠原路線の就航計画 が頓挫した超高速船 「TSL」(約 1万4500ト)が14 日、東日本大震災の被 災者支援するため、 三井造船玉野事業所 (岡山県玉野市)から 宮城県・石巻港に向け て出航する。17日から 今月末まで停泊、被災 者に個室や食事、シャ ワーなどを提供する予 定。6年間も保留され 宝の持ち腐れ」状態

山田町に教育基金設立

住民有志 寄付活用し 遺児支援

東日本大震災で親を 失った子どもを支援す るため、岩手県山田町 の住民が寄付金などを 活用して独自の基金を 設立した。震災遺児支 援金は、同県など行政 が基金を、同県などが あるが、山田町の基金 は、将来の地域を背負 う子どもを育てたい」と いう住民有志で運営 する。

流れ星 じいの姿重ね

日付が3月12日に変わ るころ、岩手県釜石市の 市民交流センターに登場 した救急車。避難所の体 育館に小さな歓声が上 が ったが、市内を走行中 に津波に遭遇した近くの小 学校に避難した車と分か り、ため息に変わった。 とはいえ、3人の救急 救命士と乗、酸素マスク が加わり、負傷者の応急 処置の質が改善された。 センターにいた消防士と 菊池玲奈(きくちれいな)さん(17)の高校生、 井戸 麻美(いもうま)さん(17)の高校生、 アガ(アガ)さんがサポートし、 処置を終えたのは午前1 時。津波から約10時間が 経過していた。

被災地で郵便サービスを受けるには? A 避難先届で居場所連絡を

先届を郵付回収してい るので、住所などの必要 事項を記入して提出して ください。避難所であつ ても郵便物を受け取れま す。被災者が避難所を転 々とする場合も多いた め、ごうが積極的に居場 所を連絡してください。 郵便局は、簡易郵便局 などが一時期閉鎖となつ ていた地域を対象に、現金 自動支払機(ATM)も 利用できる車面型移動郵 便局を15台運行していま す。4月26日には岩手県 陸前高田市に仮店舗を設 置。通常店舗と変わらな いオンラインサービスを 実施しています。 被災地への配達状況や 移動郵便局の開設情報 は、日本郵便のホームペ ージ(http://www.post.japanpost.jp/index.html)で確認 できます。電話での問い 合わせはお客サービス 相談センター(0120-232-2886、携 帯電話からは0570-046660)へ。平日 の午前8時午後10時、 土・日・祝日の午前9時 午後10時に受け付けて います。【川畑展之】

字に思い託し生きる力に 遠くの被災地より

新潟県三条市で市の半 分が水没し、9人が亡く なった4月13日の三 条水害。その日私は、市 内で経営する自然食品店 を販売するエコロジ ーショップにいました。最 初は雨がたかさん降つて いるなどという程度の印象 でしたが、急速に水かさ が増して腰までつかり、 慌てて避難しました。 水が引いた後、店に戻 ると、店内の品物はほと んど流され、玄関の前に 水害を通して実感しま した。片付けがらに店を 開けると、知人や近 所の人、お客さんが手伝 いに来てくれました。片 付けながら、互いに自分 の体験や苦勞を話し合う ことで、気持ちを和らげ ていたのと同じように、 その後の、近所の人やお 客さんと被災者の声を 集めて本にしよう」と話 しい、編集委員会を結 成しました。声を寄せて くれる人、思い返すのも つながりがあった。震災の 被災者の方々は、それ 人。さまざまながいま したが、05年7月、三条 水害の被災者から80人が体 験をつづつた記録集「私 の7・13水害」が完成し ました。 水害を通して実感しま した。片付けがらに店を 開けると、知人や近 所の人、お客さんが手伝 いに来てくれました。片 付けながら、互いに自分 の体験や苦勞を話し合う ことで、気持ちを和らげ ていたのと同じように、 その後の、近所の人やお 客さんと被災者の声を 集めて本にしよう」と話 しい、編集委員会を結 成しました。声を寄せて くれる人、思い返すのも つながりがあった。震災の 被災者の方々は、それ 人。さまざまながいま したが、05年7月、三条 水害の被災者から80人が体 験をつづつた記録集「私 の7・13水害」が完成し ました。

東日本大震災・原発報道調査 新聞の情報量「豊富」が4割

毎日新聞など全国紙4社が、 東日本大震災と福島第1原発事 故を受けて首都圏と近畿圏で新聞 の特徴を聞いたところ、約4 割が「テレビやネットにない情 報がある」と回答したことが分 かった。

調査は、新聞広告共通のイン ターネット調査媒体「J-MONITOR」を活用。新聞を購 読している首都圏と近畿圏の計 2546人を対象に調べ、15~69歳 の1983人が答えた。震災以降重 要度が上がったメディアは、①新聞 (86%)②NHK(85%)③民放(71%)——だった。新聞 の特徴・特性については、約4 割が「被災状況などについて、 テレビやネットにない情報があ ると認識した」とし、「いつでも どこでも読める」「解説・説明 がどのメディアより詳しい」 などの回答が続いた。【吉住遊】

おう」という声が高ま った。4月中旬に基金 を設立するの、町と交 渉がある台湾の代表的 書家、朱振南(しゅ しんなん)さんも町 を訪れ趣意に賛同し約 300万円を贈った。 基金は当面、親を失 った同町の小中高校生 を対象に、学業などを 支援する。代表の元町教育長、 代表の元町教育長、 代表の元町教育長、

第3113回	ナショナル	パーソナル	ズバク
13日	カセット	4	844
ボックス	12万8300円(46)		
セット	10万1500円(149)		
セット	65万9900円(45)		
セット	5万700円(800)		
セット	11万6200円(42)		
セット	1万9300円(497)		
セット	6万7700円(160)		
セット	9600円(1161)		
ミニ	下	1万1600円(406)	